



第 5 部

神奈川県環境マネジメントシステムの取組状況



神奈川県環境マネジメントシステムの取組状況

県では、平成13年3月、環境マネジメントシステムの国際規格である「ISO14001」の認証を本庁において取得し、平成15年3月には、警察を除く全ての県機関に、認証範囲を拡大しました。

ISO14001は、環境に配慮した取組を継続的に改善する仕組みになっていることが特徴です。

知事が定めた環境方針に基づき、目的・目標を定め、これらを達成するため、行動計画「環境マネジメントプログラム」(7つの個別プログラムで構成)を作成してお

り、このプログラムをもとに、日常活動や業務を環境に配慮しながら進め、その進捗状況を定期的に点検し、見直していきます。

この仕組み (PDCA サイクル) に基づき毎年取組を進めることにより、継続的に日常活動や業務が改善され、環境に配慮した活動になっていきます。

ここでは、平成16年度における各プログラムの取組状況(進捗状況)を報告します。

グリーン購入の拡大と廃棄物の削減に向けた率先行動プログラム

このプログラムは、物品を購入して、事務事業活動を行い、廃棄物となって排出するという一連の流れの中で環境配慮を行い、グリーン購入、廃棄物の

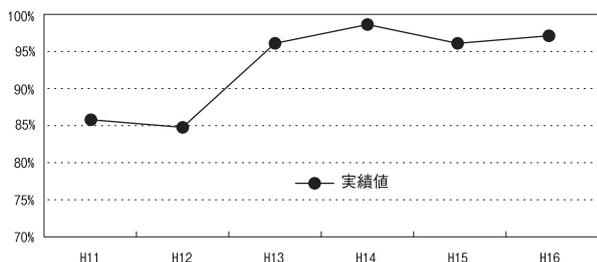
発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)を進めています。

▶表5-1 平成16年度目標と実績

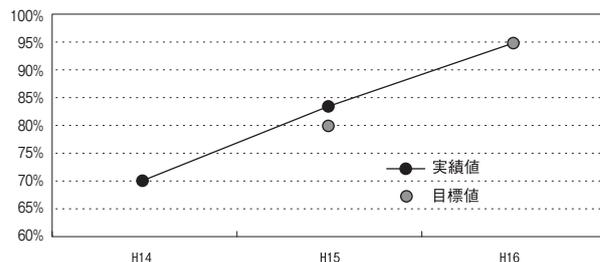
取組項目	目標	実績
本庁の経常物品のグリーン購入率の向上	☆	97.0%
出先機関等のグリーン購入率の向上	95%	95.3%
低公害車の購入率の向上(ただし、特殊車、特種車及び二輪車を除く)	☆	100%
本庁の印刷物の再生紙利用率の向上	☆	100%
出先機関等の印刷物の再生紙利用率の向上	100%	94.5%
本庁の廃棄物発生量の削減	☆	760t
本庁のリサイクル率	80%	83.2%
出先機関等の廃棄物発生量の削減	☆	5,227t
出先機関等のリサイクル率	36%	39.9%
本庁のコピー用紙使用量の削減	☆	8,330万枚
出先機関等のコピー用紙使用量の削減	☆	10,480万枚

※☆印は維持管理項目(実績数値は把握するが、新たな数値目的・数値目標は設定しない項目)

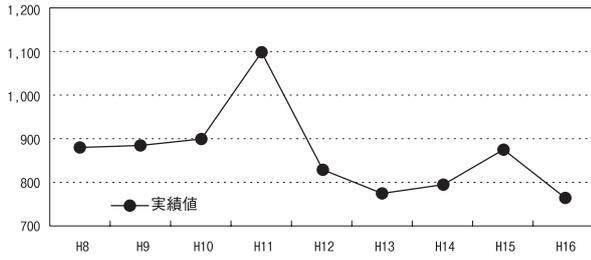
▶図5-1 本庁の経常物品のグリーン購入率(%)の推移



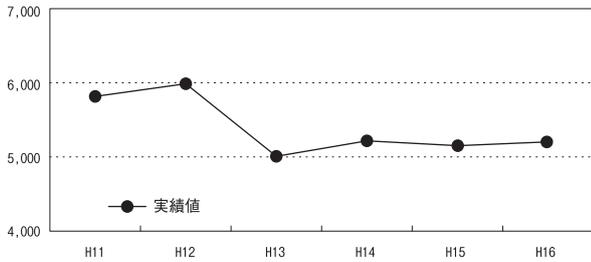
▶図5-2 出先機関等のグリーン購入率(%)の推移



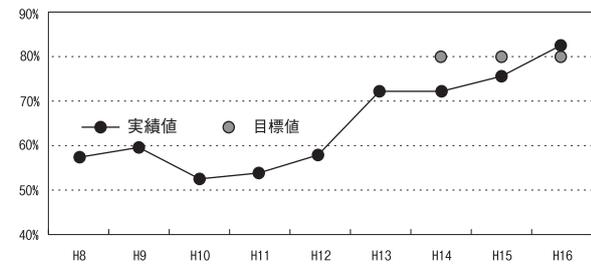
▶ 図5-3 本庁の廃棄物の発生量(t)の推移



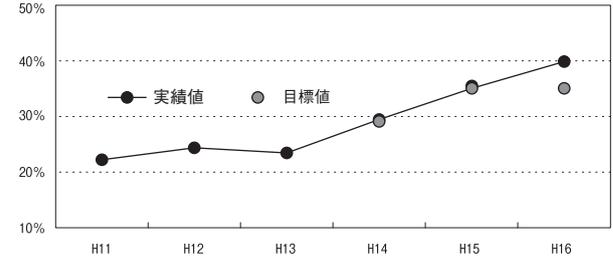
▶ 図5-4 出先機関等の廃棄物の発生量(t)の推移



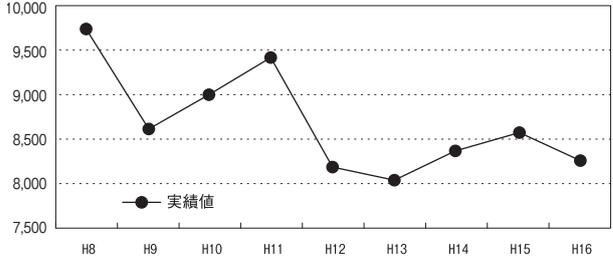
▶ 図5-5 本庁のリサイクル率(%)の推移



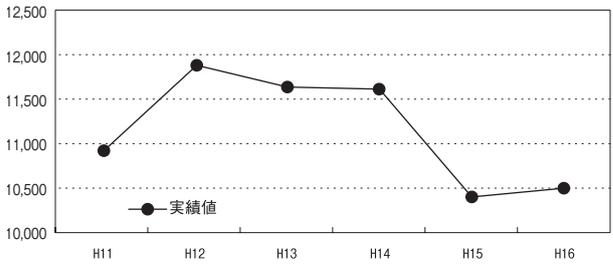
▶ 図5-6 出先機関等のリサイクル率(%)の推移



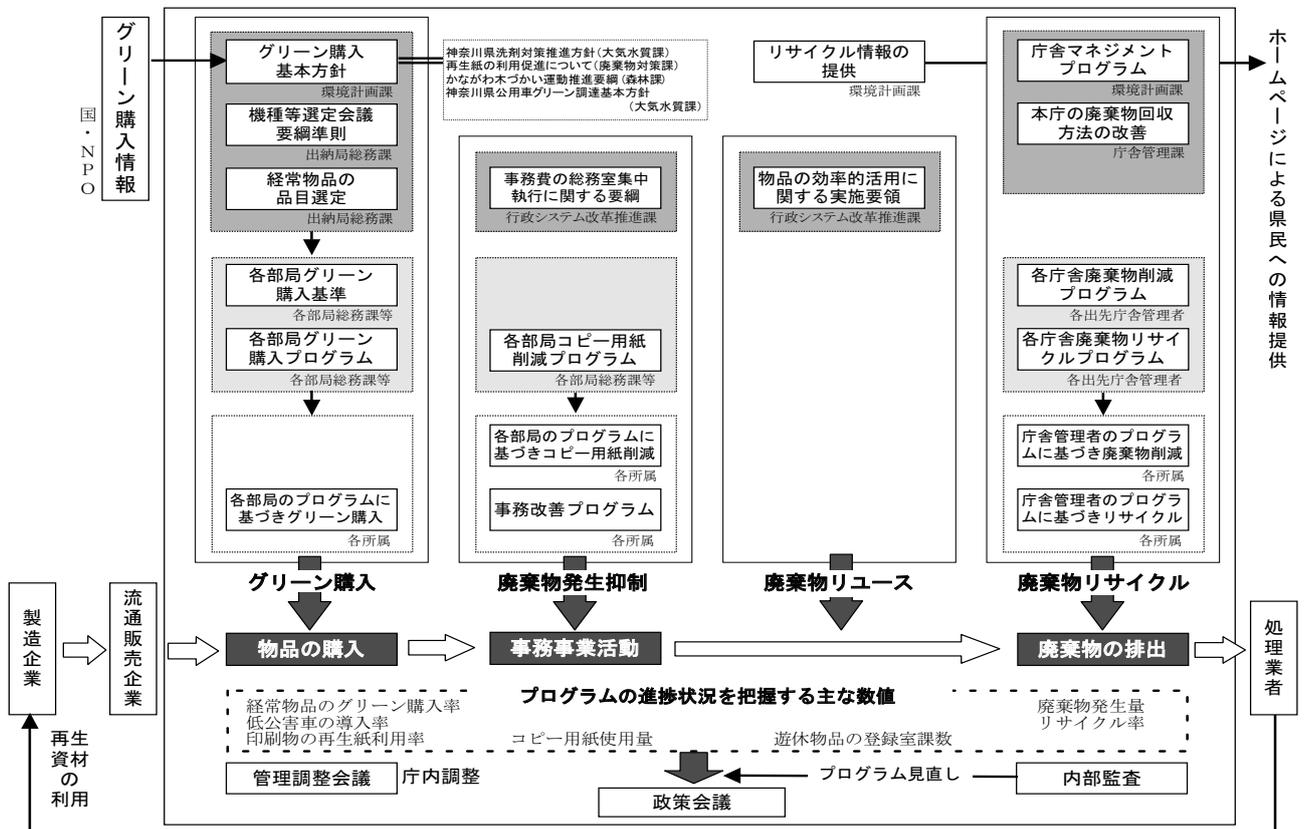
▶ 図5-7 本庁のコピー用紙使用量(万枚)の推移



▶ 図5-8 出先機関等のコピー用紙使用量(万枚)の推移



▶ 図5-9 グリーン購入の拡大と廃棄物の削減に向けた率先行動プログラムのフロー図



地球温暖化防止に向けた率先行動プログラム

このプログラムは、温室効果ガス総排出量に大きく関与する、各庁舎のエネルギー使用量の削減、浄水

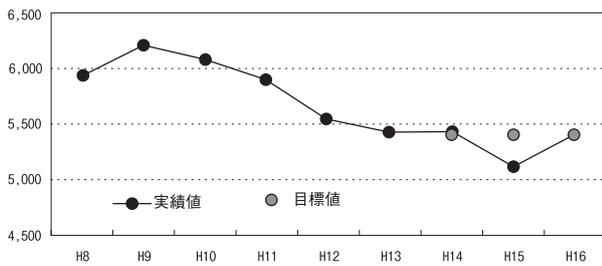
場のエネルギー使用量の削減、道路照明への省エネルギー型の照明ランプの導入などを進めています。

▶ 表5-2 平成16年度目標と実績

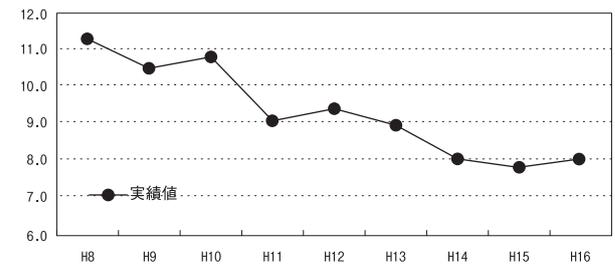
取組項目	目標	実績
本庁の温室効果ガス排出量の削減	5,400t	5,394t
出先機関等の庁舎の温室効果ガス排出量の削減	81,000t	83,482t
寒川浄水場 送水量当たりの温室効果ガス排出量の削減	124t/百万m ³	125t/百万m ³
谷ヶ原浄水場 送水量当たりの温室効果ガス排出量の削減	100t/百万m ³	109t/百万m ³
道路照明1本当り当たりの温室効果ガス排出量の削減	357kg/本	377kg/本
本庁の水道使用量の削減	☆	8.0万m ³
出先機関等の水道使用量の削減	☆	288.6万m ³

※☆印は、維持管理項目(実績数値は把握するが、新たな数値目的・数値目標は設定しない項目)

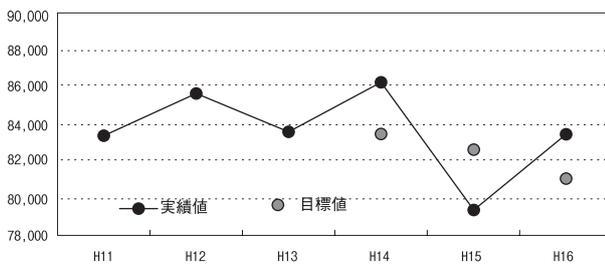
▶ 図5-10 本庁の温室効果ガス排出量(t)の推移



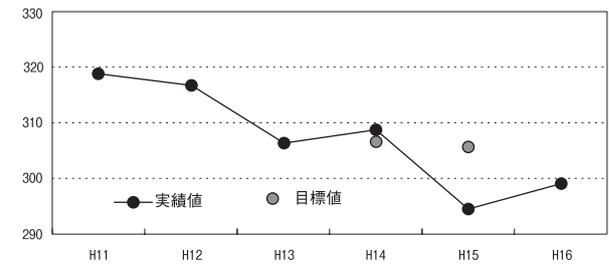
▶ 図5-12 本庁の水道使用量(万m³)の推移



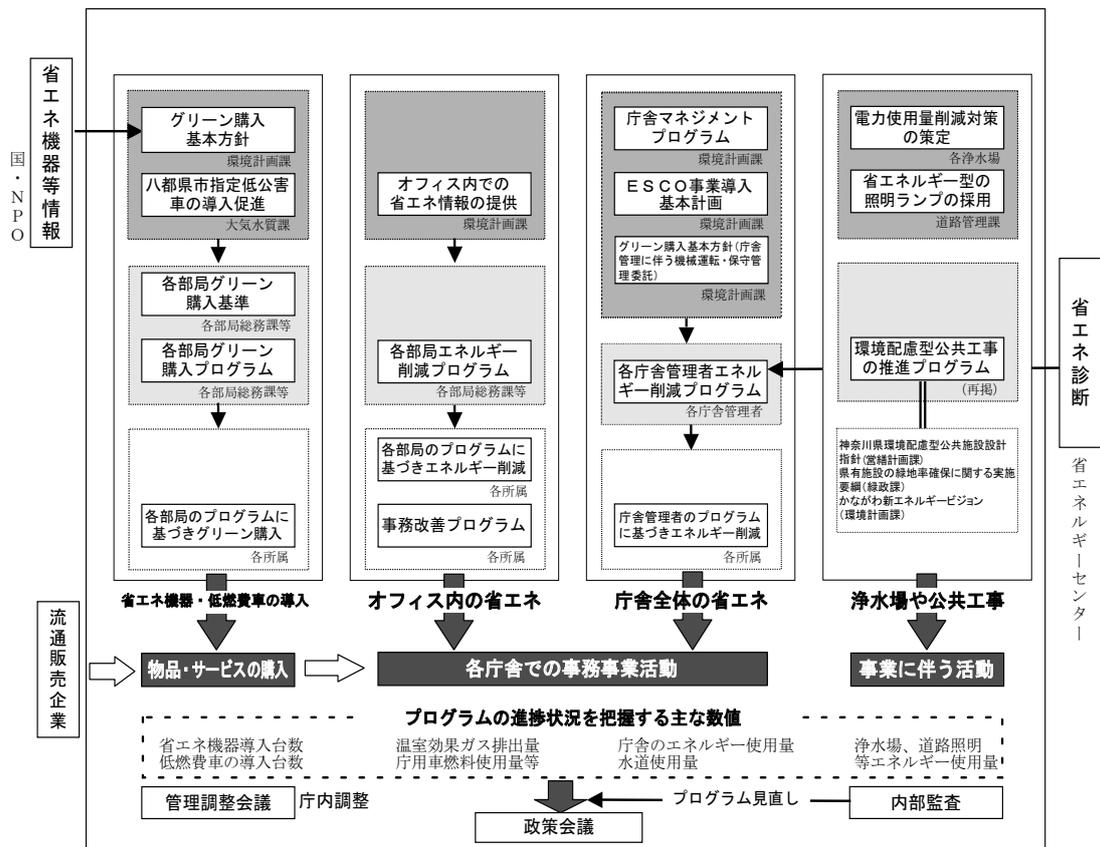
▶ 図5-11 出先機関等の庁舎の温室効果ガス排出量(t)の推移



▶ 図5-13 出先機関等の庁舎の水道使用量(万m³)の推移



▶ 図5-14 地球温暖化防止に向けた率先行動プログラムのフロー図



化学物質等の適正管理プログラム

このプログラムは、化学物質等による環境負荷を軽減するため、法律等で規制されている物質や機器など

について、法を遵守し、より環境負荷を軽減できるよう自主的な対応を進めています。

環境配慮型公共工事の推進プログラム

このプログラムは、公共工事の構想・計画段階、実施設計・積算段階、発注段階、工事段階、検査段階の各段階における環境配慮を進めるため、仕様書や現場説明書における環境配慮項目の拡大、工事の各段階におけるチェックリストの作成や見直し等を

行い、環境配慮型工事を進めています。

また、グリーン資材調達率の推進やリサイクル率の向上に努めており、主要な資材等については目標を定め実績把握を行っています。

▶ 表5-3 平成16年度目標と実績

取組項目	目標	実績
再生砕石の利用率の向上	☆	80.3%
再生アスファルト合材の利用率の向上	60.0%	58.1%
コンクリート塊のリサイクル率の向上	☆	98.9%
アスファルト・コンクリート塊のリサイクル率の向上	☆	99.6%
建設発生木材のリサイクル率の向上	95.0%	86.2%
環境創造型、環境配慮型公共工事の情報発信件数	50件/年	20件/年

※☆印は、維持管理項目(実績数値は把握するが、新たな数値目的・数値目標値は設定しない項目)

環境基本計画

神奈川県の実施策の柱である環境基本計画に位置づけているプロジェクトを進めています。
また、これらの進捗状況について、環境審議会や

県民による点検に加え、内部監査・外部審査による点検などを実施し、より効果的に進めています(平成17年10月改定)。

環境に視点を おいた本来業務の改善プログラム

このプログラムは、環境に視点を おいた本来業務の改善に向けて、各課一つ以上のプログラムを作成し、実施しています。

平成13年度からは、各課の取組の中で良い事例を「クローズアップ優秀事例」としてISO14001の内部監査員が評価して公表しています。

●16年度 クローズアップ優秀事例(抜粋)

- 「御幸の浜」は、過去40年間で約20m以上もの海岸侵食が観測される箇所があるなど、海水浴場の砂浜の減少、海岸に隣接する住宅に対する波浪の影響などの問題が生じていることから、砂浜の復元のため、侵食された砂浜の上に土砂を搬入する工事を施工している。この工事では、県水道企業団の協力のもと、酒匂川の取水堰にたまり、県水道企業団がしゅんせつした土砂をもらい受けて、養浜工事において土砂を再利用することにより、限りある資源の有効活用と土砂購入費の削減に役立っている。(西部漁港事務所)
- 独自でISO14001の認証取得した経験を活かし、県内中堅・中小企業等を対象に、年2回「ISO14001 審査登録セミナー」を実施して、総合的なISO14001 認証取得の支援を行っている。平成16年度末確認の実績では、276事業所を支援し、そのうち118事業所が審査登録を済ませている。登録した多くの企業には、自力で認証取得できるよう、様々な支援を行っている。(産業技術総合研究所)
- 大岡川河川再生工事に伴い、クリーンエネルギーである太陽光発電施設を設置し、昼間発電した電力を東京電力㈱に売電し、夜間必要な電力を東京電力㈱から買電することにより、河川親水施設(ボードウォーク)の照明灯(左右岸各7基ずつ)の電力をまかなっている。ソーラーシステムの解説・説明板も設置しており、太陽光発電施設の目的と意義を県民にPRしている。(横浜治水事務所)
- 太陽光発電、風力発電といったクリーンエネルギーを広く県民に理解していただくために、城山ソーラーガーデンを施設開放している。太陽光発電施設の見学のほか、太陽光を利用したベンチ式の太陽光ゲームや自転車ゲームなどの遊具を併設して、子供でも遊び感覚で太陽光の発電の仕組みを学ぶことができる。(相模川発電管理事務所)

環境保全及び創造に関する情報提供と教育及び学習の推進プログラム

このプログラムは、環境保全及び創造に関する情報提供と教育及び学習の推進のため、各所属におい

て積極的に実施しています。

▶表5-4 平成16年度目標と実績

取組項目	目標	実績
マイアジェンダ登録学校数	500校	33校
ホームページ「かながわの環境」のアクセス数の向上	100万件/月	73万件/月